

さいがい そな ペットも災害に備えましょう

ーペット同行避難と日頃からの備えについてー

- ▼災害のおそれがある場合や災害時の**ペット避難**について、**必要な準備**はできていますか？
- ▼**ペットの飼育**から**避難に至る対策**は、**飼い主の責任**です。
- ▼いざという時のために、**普段から対策**を考えておきましょう。

同行避難

- 災害発生時に、飼い主が飼育しているペットとともに、安全な場所まで避難する行為

※避難場所等で、ペットと人が同じスペースで過ごすことなどの「同伴避難」を指すものではありません。



同伴避難

- 被災者が、避難場所等でペットを飼育管理する状態

※避難場所等で、避難者がペットと同じスペースで過ごせるとは限りません。



身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）



身体障害者の自立と社会参加に資するものとして、「身体障害者補助犬法」に基づき**訓練・認定された犬**であるため、**身体障害者と分離することなく受入れることが必要**です。

同行避難と避難先の例

- 飼い主だけがペットの命を守れます。
- 災害のおそれがある場合は、ペットと一緒に避難（同行避難）することを基本に、日頃から避難先を考えておきましょう。

災害のおそれ／避難情報の発令

住居と居住地

【安全】

在宅避難

- 一定期間生活できる備えを



【危険】

友人・親戚宅

- 頼れる先があるとき

ペット同伴宿泊施設

- 行きつけがあるとき

避難場所／避難所

- ほかに避難先がないとき

車中泊

- 受け入れ先がないとき
※津波は原則徒歩避難

普段のペット飼育

- 「しつけ」と「健康管理」が大切です。
- 人や他の動物を怖がったり、むやみに吠えないようにする。
- ケージやキャリーバックに慣れさせる。
- 決められた場所で排泄できるようにする。
- 予防接種や外部寄生虫駆除、トリミングなどで健康と衛生を確保する。
- 人と同様に、ペットの食糧等も備蓄するよう努める。

- | | |
|--------------|---------------------|
| ①首輪・迷子札の装着 | ④ワクチンの接種 |
| ②マイクロチップの装着 | ⑤ペット避難用品の準備 |
| ③犬鑑札・注射済票の装着 | ⑥主要な情報の記録を整理（ペット情報） |

避難場所等

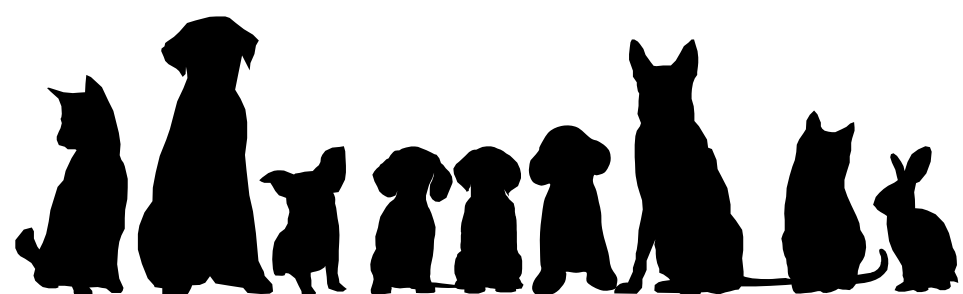
- 人と動物は、別の場所で過ごすことが基本です。
- 飼育スペースは、軒下などの屋外が基本で、飼い主が持参したケージやキャリーバック等で飼育する。
- ペット用品の備蓄がないため、飼い主の責任で準備する。
- ペットの受け入れ体制と飼育管理は、同行避難した飼い主同士が協力して行う。

【ペット避難用品（非常持出品 の例）】

※必要な物を準備しましょう。

食事等

- ①ペットフード
 - ②水
 - ③おやつ
 - ④常備薬
- ▶ **1** 週間分



記録類

※ペット情報（手帳等）

- ①ワクチン接種証明
- ②マイクロチップ番号
- ③お薬手帳
- ④ペットの写真
- ⑤飼い主と一緒にの写真

ペット用品

- | | |
|---------------|----------------------|
| ①食器 | ⑩消臭ペレット |
| ②水ボトル | ⑪排泄処理用消臭袋 |
| ③首輪（予備） | ⑫ティッシュ |
| ④リード、ハーネス（予備） | ⑬濡れティッシュ |
| ⑤ペットキャリー | ⑭バスタオル・ブランケット |
| ⑥折り畳みケージ・サークル | ⑮ペットや飼い主の臭いがついたタオルなど |
| ⑦トイレトレー | ⑯おもちゃ |
| ⑧ペットシート | |
| ⑨トイレ砂 | |